

令和元年 8 月 7 日



担当課	文化振興課
担当者	坂井・山本・富永
電話	(073) 435-1194
内線	3020

重要文化財「旧中筋家住宅」の瓦屋根保全事業実施について

日本の伝統的な家屋の「瓦屋根」の良好な維持保全のPRのため、8月8日「屋根の日」に合わせて、重要文化財「旧中筋家住宅」（和歌山市禰宜）で、和歌山県屋根工事業協会が、瓦屋根の保全事業を行います。

【事業】 国指定重要文化財 旧中筋家住宅 屋根保全事業

【主催】 和歌山県屋根工事業協会

【目的】 8月8日「屋根の日」PR（伝統的な瓦屋根の維持保全のPRのため）

【日時】 令和元年（2019）8月8日（木）午前10時～正午 ※雨天中止

【場所】 旧中筋家住宅（和歌山市禰宜148番地）

【内容】 瓦屋根の維持保全作業（屋根瓦の点検・清掃、雨樋の清掃）



【旧中筋家住宅の概要】 旧中筋家住宅は、熊野古道に面し、江戸時代後期の和佐組大庄屋にふさわしい屋敷構えを残しています。嘉永5年（1852）建築の主屋は、三階の望山楼、二十畳敷きの大広間や広い接客空間などが特徴で、紀の川流域随一の大規模民家です。

昭和49年（1974）、主屋のほか表門・長屋蔵・北蔵・内蔵・御成門の付属建物が、国の重要文化財に指定されました。平成12年（2000）から和歌山市が管理団体となり約10年間にわたって保存修理事業を行ない、平成22年（2010）8月から一般公開しています。